

ながさきスポーツビジョン（2016-2020）の中間進捗状況について

基本方針	展開方策	具体的取組	成果指標	成果指標の進捗状況																														
1 生涯スポーツの推進	<p>(1) 健康・体力づくりを意識したスポーツ活動の推進</p> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブの活性化等</p> <p>(3) 高齢者スポーツの推進</p> <p>(4) 障害者スポーツの推進</p>	<p>①ニーズに応じたスポーツ活動の提供と推進</p> <p>②スポーツを支える活動の推進</p> <p>①地域に根付いた総合型クラブの育成・支援</p> <p>①高齢者がスポーツを楽しむ機会の充実</p> <p>②ねんりんピックの開催</p> <p>③健康づくりの推進</p> <p>①障害者スポーツの裾野拡大</p> <p>②長崎がんばらんば大会の成果定着</p>	<p>★成人の週1回以上のスポーツ実施率</p> <p>平成27年度 43.7%</p> <p>⇒平成32年度 65.0%</p>	<p>進捗実績把握のための「県民のスポーツ実態に関するアンケート調査」は5年毎に実施(次回調査:平成32年)となっているため、平成28、29年度の実績把握は行っていない。</p>																														
2 子どもの体力向上と体育・スポーツ活動の充実	<p>(1) 幼児期における運動・スポーツ活動の推進</p> <p>(2) 「生きる力」の育成を図る体育学習の展開</p> <p>(3) 児童生徒の体力向上</p> <p>(4) 運動部活動の活性化</p> <p>(5) 学校体育関係団体の活動支援</p>	<p>①幼稚園・保育所・認定こども園での普及啓発</p> <p>②家庭や地域での啓発</p> <p>①教科体育指導の充実</p> <p>②教科体育指導者の資質向上</p> <p>①指導体制の確立</p> <p>②新体力テストの結果を基にした個を活かす指導</p> <p>③運動の場の工夫と時間の確保</p> <p>①適正な運動部活動の推進</p> <p>②指導者の養成確保</p> <p>①学校体育研究団体の充実</p> <p>②学校体育団体との連携強化</p>	<p>★全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「体育の授業で運動のやり方やコツがわかった」児童生徒の割合</p> <p>平成26年度 88.9%</p> <p>⇒平成32年度 90.0%以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標</th> <th>基準年</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「体育の授業で運動のやり方やコツがわかった」児童生徒の割合</td> <td>目標値①</td> <td></td> <td>90.0%以上</td> <td>90.0%以上</td> <td>90.0%以上</td> <td>90.0%以上</td> <td>90.0%以上</td> </tr> <tr> <td>実績値②</td> <td>88.9% (H26)</td> <td>88.9%</td> <td>90.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②/①</td> <td></td> <td>98%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	「体育の授業で運動のやり方やコツがわかった」児童生徒の割合	目標値①		90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	実績値②	88.9% (H26)	88.9%	90.4%				②/①		98%	100%			
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32																											
「体育の授業で運動のやり方やコツがわかった」児童生徒の割合	目標値①		90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上																											
	実績値②	88.9% (H26)	88.9%	90.4%																														
	②/①		98%	100%																														

ながさきスポーツビジョン（2016-2020）の中間進捗状況について

基本方針	展開方策	具体的取組	成果指標	成果指標の進捗状況																														
3 競技スポーツの振興	(1) 競技スポーツ選手・指導者の計画的な育成・強化	<ul style="list-style-type: none"> ①育成・強化体制の充実 ②ジュニア層の育成・強化・充実 ③指導者の育成及び資質向上 	<p>★本県ゆかりの日本代表選手数</p> <p>平成26年度 41人</p> <p>⇒平成32年度 60人</p> <p>★国民体育大会の順位(男女総合成績)</p> <p>平成26年度 1位</p> <p>⇒平成32年度 10位台を 目指しつつ、 20位台定着</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標</th> <th>基準年</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本県ゆかりの日本代表選手数</td> <td>目標値①</td> <td>/</td> <td>42人</td> <td>45人</td> <td>50人</td> <td>60人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>実績値②</td> <td>41人 (H26)</td> <td>47人</td> <td>51人</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>②/①</td> <td>/</td> <td>115%</td> <td>113%</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table>	指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	本県ゆかりの日本代表選手数	目標値①	/	42人	45人	50人	60人	60人	実績値②	41人 (H26)	47人	51人	/	/	/	②/①	/	115%	113%	/	/	/
	指標			基準年	H28	H29	H30	H31	H32																									
	本県ゆかりの日本代表選手数	目標値①		/	42人	45人	50人	60人	60人																									
		実績値②		41人 (H26)	47人	51人	/	/	/																									
		②/①		/	115%	113%	/	/	/																									
(2) 競技環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①育成・強化活動の充実 ②一貫指導体制の強化・充実 ③競技スポーツ大会の充実 ④メディアの積極的活用 																																	
(3) スポーツ医・科学の整備と積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> ①総合的なサポート体制の充実 ②ドーピング防止教育・啓発 ③スポーツ医・科学組織の整備 																																	
(4) 国体等で充実したスポーツ施設・設備の活用	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ施設の活用と充実 																																	
(5) 障害者スポーツの競技力向上	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者スポーツチーム等への活動支援充実 ②東京パラリンピックキャンプ地誘致推進 ③長崎県障害者スポーツ協会との連携強化 																																	
4 スポーツを活用した地域活性化	(1) スポーツツーリズムによる地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ①全国・国際大会の誘致・活用 ②スポーツ合宿の誘致・定着化 ③スポーツを活用した産業振興の検討 	<p>★スポーツコンベンション参加者数</p> <p>平成26年度 21.4万人</p> <p>⇒平成32年度 25.0万人</p> <p>★キャンプ地拠点設置数</p> <p>平成26年度 0拠点</p> <p>⇒平成32年度 4拠点</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標</th> <th>基準年</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スポーツコンベンション参加者数</td> <td>目標値①</td> <td>/</td> <td>22.1万人</td> <td>22.8万人</td> <td>23.5万人</td> <td>24.2万人</td> <td>25.0万人</td> </tr> <tr> <td>実績値②</td> <td>21.4万人 (H26年)</td> <td>26.6万人</td> <td>27.1万人</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>②/①</td> <td>/</td> <td>120%</td> <td>119%</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table>	指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	スポーツコンベンション参加者数	目標値①	/	22.1万人	22.8万人	23.5万人	24.2万人	25.0万人	実績値②	21.4万人 (H26年)	26.6万人	27.1万人	/	/	/	②/①	/	120%	119%	/	/	/
	指標			基準年	H28	H29	H30	H31	H32																									
	スポーツコンベンション参加者数	目標値①		/	22.1万人	22.8万人	23.5万人	24.2万人	25.0万人																									
		実績値②		21.4万人 (H26年)	26.6万人	27.1万人	/	/	/																									
②/①		/	120%	119%	/	/	/																											
(2) 地域密着型クラブチームを活用した地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ①クラブチームの取組支援 ②県民みんなで応援する体制づくりの推進 ③クラブチームの活用 ④実業団スポーツの振興 																																	
(3) アジアを中心とした国々とのスポーツ交流	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ交流イベント等の誘致・開催 																																	
(4) スポーツツーリズム推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツツーリズムの基盤整備 																																	
5 スポーツ推進環境の整備	(1) スポーツ施設の充実と活用	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ施設の積極的な活用 																																
	(2) スポーツ推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ推進体制の整備 ②スポーツ推進体制の整備 ③スポーツ推進体制の整備 																																

ながさきスポーツビジョン(2016-2020)の中間進捗状況

基本方針	展開方策	具体的取組	取組項目	達成状況区分※			
				A	B	C	
1 生涯スポーツの推進	(1) 健康・体力づくりを意図したスポーツ活動の推進	①ニーズに応じたスポーツ活動の提供と推進	8		7	1	
		②スポーツを支える活動の推進	3		3		
	(2) 総合型地域スポーツクラブの活性化等	①地域に根付いた総合型クラブの育成・支援	6		6		
	(3) 高齢者スポーツの推進	①高齢者がスポーツを楽しむ機会の充実	1		1		
		②ねんりんピックの開催	2		2		
		③健康づくりの推進	3		3		
	(4) 障害者スポーツの推進	①障害者スポーツの裾野拡大	2	1		1	
		②長崎がんばらんば大会の成果定着	2	2			
	2 子どもの体力向上と 体育・スポーツ活動の 充実	(1) 幼児期における運動・スポーツ活動の推進	①幼稚園・保育所・認定こども園での普及啓発	1		1	
			②家庭や地域での啓発	1		1	
(2) 「生きる力」の育成を図る体育学習の展開		①教科体育指導の充実	3		2	1	
		②教科体育指導者の資質向上	2		2		
(3) 児童生徒の体力向上		①指導体制の確立	2		2		
		②新体力テストの結果を基にした個を活かす指導	2		2		
		③運動の場の工夫と時間の確保	3		3		
(4) 運動部活動の活性化		①適正な運動部活動の推進	3		3		
		②指導者の養成確保	3		3		
(5) 学校体育関係団体の活動支援		①学校体育研究団体の充実	3		2	1	
		②学校体育団体との連携強化	2		2		
3 競技スポーツの振興		(1) 競技スポーツ選手・指導者の計画的な育成・強化	①育成・強化体制の充実	5	1	4	
			②ジュニア層の育成・強化・充実	4		4	
			③指導者の育成及び資質向上	3		3	
	(2) 競技環境の整備	①育成・強化活動の充実	4		4		
		②一貫指導体制の強化・充実	4		4		
		③競技スポーツ大会の充実	1		1		
		④メディアの積極的活用	1		1		
	(3) スポーツ医・科学の整備と積極的活用	①総合的なサポート体制の充実	4		4		
		②ドーピング防止教育・啓発	1		1		
		③スポーツ医・科学組織の整備	2		2		
	(4) 国体等で充実したスポーツ施設・設備の活用	①スポーツ施設の活用と充実	1		1		
		(5) 障害者スポーツの競技力向上	①障害者スポーツチーム等への活動支援充実	1	1		
	②東京パラリンピックキャンプ地誘致推進		1		1		
	③長崎県障害者スポーツ協会との連携強化		1	1			
	4 スポーツを活用した 地域活性化	(1) スポーツツーリズムによる地域活性化	①全国・国際大会の誘致・活用	9	1	7	1
②スポーツ合宿の誘致・定着化			4		3	1	
③スポーツを活用した産業振興の検討			2			2	
(2) 地域密着型クラブチームを活用した地域活性化		①クラブチームの取組支援	1	1			
		②県民みんなで応援する体制づくりの推進	2		2		
		③クラブチームの活用	5		3	2	
		④実業団スポーツの振興	2			2	
(3) アジアを中心とした国々とのスポーツ交流		①スポーツ交流イベント等の誘致・開催	5		3	2	
(4) スポーツツーリズム推進体制の整備		①スポーツツーリズムの基盤整備	3		3		
5 スポーツ推進環境の 整備		(1) スポーツ施設の充実と活用	①スポーツ施設の積極的な活用	5		4	1
	(2) スポーツ推進体制の整備		①スポーツ推進体制の整備	2		1	1
		②スポーツ推進体制の整備	1		1		
		③スポーツ推進体制の整備	1		1		
計			127	8	103	16	

※ A：達成済 B：達成に向けて順調に推移 C：遅れている

ながさきスポーツビジョン(2016-2020) 中間進捗での「C」評価項目一覧

【達成状況の区分】 A：達成済 B：達成に向けて順調に推移 C：遅れている

	「具体的取組」項目	担当課	これまで（H28、29、30年度）の取組状況及び成果	達成状況	現状における課題と今後の対応方針
1 (1) ① v	就業世代のスポーツをする機会の充実を図るため、県関係機関や、市町及び地域・職域連携推進協議会、職域保健等と連携して、職場等への「ウォーキング」や「1日1000歩増やす」ことをはじめとした日常の身体活動増進に向けた啓発活動の推進に取り組みます。	国保・健康増進課	ウォーキングコースを活用した健康づくりの取組や、健康ながさき21推進会議構成団体による運動講座の開催、学校や職域を通じた健康づくり活動に取り組み、県民が日頃から運動やスポーツに親しむ機会の充実を図っています。 また、県庁発の健康づくりとして、ゆう活を活用して県職員を対象にウォーキング教室を開催し、職場における健康づくりを提案した。 【日常生活における1日歩数】 (基準値) (中間値) (最終目標値) 男性：20～64歳 7,695歩 7,616歩 8,695歩 女性：20～64歳 6,690歩 6,592歩 7,690歩	C	【課題】 生活習慣病予防等のためには、歩行数の増加や運動習慣化の重要性を県民が理解し、早期に取り組むことが必要であることから、ライフステージに応じた意識啓発と環境整備が求められている。 【今後の対応方針】 歩行数の増加が健康維持に約立つことを周知し、日常生活の中で歩数を増やす工夫等をパンフレット、県・市の広報、インターネット、テレビ放映等により情報提供を行うとともに、歩数増加のきっかけや習慣化につながる取組の検討・実施を図る。また、従業員の健康を会社の財産ととらえ、会社の成長のために、従業員の健康づくりに積極的に取り組む「健康経営」の推進等、職場での取組を推進する。
1 (4) ① ii	地域のスポーツフォーラムやスポーツレクレーション教室等においてパラリンピック大会や国際大会、国内大会等で活躍するアスリートや指導者と交流することで障害者のスポーツへの参加意欲の向上を図ります。	障害福祉課	スポーツレクレーション教室等において、国際大会、国内大会等で活躍するアスリートや指導者との交流を持つ機会を設けることについては、実施できなかった。 (H28年度) 実施なし (H29年度) 実施なし (H30年度) 実施なし	C	【課題】 パラリンピック大会や国際大会、国内大会で活躍する選手を呼ぶにあたっては、スポーツ教室等は、人数規模の小さいものが多く、実施に結びつかなかった。 【今後の対応方針】 比較的人数の多く集まるスポーツ教室や、市町が開催するイベントに、国内外で活躍するアスリートや指導者を呼び、交流の場を設けることを目指す。
2 (2) ① ii	児童生徒の模範になる実技を視覚的に示すための体育・保健体育の授業のためのDVDの提供や、電子黒板やタブレットを活用した授業を推進するとともに、活用方法の情報提供などに取り組みます。	体育保健課	各種研修会等において、国や県が作成した資料やDVDを配布していることや活用方法について繰り返し周知を行った。 研究指定校や教育研究会の研究発表会において電子黒板やタブレットを活用した授業提案も行い、授業における具体的なICT活用場面を示した。	C	【課題】 国や県が作成した資料があることを知らない教員も多く、一層の周知が必要。 授業で活用できる動画は、国がYou Tubeで公開しているが、各学校のネットワークセキュリティにより閲覧できないことが多い。 ICT機器導入は市町が行うことから、市町間、学校間で導入と活用に差がある。 【今後の対応方針】 市町教育委員会担当指導主事連絡協議会などの機会を捉えて、全ての学校への周知をお願いするとともに、県HPの活用を進めていく。
2 (5) ① iii	特別支援学校における部活動の充実のため、特別支援学校体育連盟(仮称)の設置について調査研究に取り組みます。	体育保健課	特別支援学校体育連盟(仮称)の設置については、なかなか進まない状況にある。 一方で、県学校体育研究連合会の研究に特別支援教育研究会も参加し、研究発表も行うことで検討を進めている。	C	【課題】 特別支援学校体育連盟(仮称)の設置に向けて、どこで、どのように組織化していけば良いかの検討が必要。 【今後の対応方針】 県学校体育研究連合会の研究に特別支援教育研究会も参加することとなったことから、課題の改善に向けて投げかけ、特別支援学校体育連盟(仮称)の設置について検討を進めていく。
4 (1) ① ix	首都圏や関西圏などにおいて、県外事務所と連携し、大会のPR及び長崎県の歴史や文化、自然、景観、食、特産品などの魅力を発信し、集客の促進と本県のイメージアップを図ります。	スポーツ振興課	28年度以降、県外で広くPRするような全国・国際大会開催はないため、PR活動は行っていない。 ただし県外事務所においてV・ファーレン長崎ポスター・グッズの常時掲示、またJ1(H30)アウェイゲームでは観光部局とも連携して本県物産・観光PRを実施するなどした。	C	【課題】 マンパワーや予算的な制約がある。 【今後の対応方針】 引き続き大規模スポーツイベントの誘致に務めるとともに、必要に応じて関係競技団体や市町等と協議を行い効果的なPRができるよう取り組んでいく。

	「具体的取組」項目	担当課	これまで（H28、29、30年度）の取組状況及び成果	達成状況	現状における課題と今後の対応方針
4 (1) ② i	スポーツコミッションを中心として、地域の「スポーツで人を呼ぶ」ための戦略的なまちづくりと地域のブランド化を図るため、誘致種目を重点化しながら、集客力のあるトップレベルチームのスポーツ合宿の誘致及び定着化に取り組みます。	スポーツ振興課	各市町の競技施設や地域の特色に応じて重点誘致種目を選定し、誘致活動を行っている。 ＜主な重点誘致種目と地域＞ ・五島、杵岐（駅伝〔陸上-ロード〕） ・島原（サッカー） ・長崎（ライフル射撃） ・佐世保（バレーボール） ・大村（ボウリング） ・松浦（なぎなた） ・川棚（ホッケー） ＜トップレベルチームの誘致実績＞ ・五島（駅伝）：パナソニック、ヤマダ電機、日立製作所、TOTO、ワコール等の実業団(女子)チーム ・島原（サッカー）：ザスパクサツ群馬（J2） ・大村（ボウリング）：日本ナショナルチーム	C	【課題】 トップレベルチームの誘致件数としてはまだ改善の余地あり。 【今後の対応方針】 引き続きスポーツコミッションを中心として、市町・関係団体等と協議・協力しながら誘致活動を促進するとともに、キャンプ地としてのブランド向上に大きな影響をもたらすプロやナショナルチームの合宿誘致活動を強化していく。 また諫早市本明川下流域を活用した「ポート競技」の合宿誘致にも力を入れていく。 ※H29から関西電力等の実業団や大学チームが合宿を実施。 H31年2月にはポート日本ナショナルチームの合宿受入に成功
4 (1) ③ i	本県におけるスポーツ関連産業の実態把握、課題の抽出を行います。	スポーツ振興課	スポーツ大会・合宿誘致などスポーツツーリズム推進にあたって、スポーツ施設運営事業者等と連携を図っており課題等の把握に努めている。	C	【課題】 県内のスポーツ関連産業は規模的に大きいところが少なく、また統計的資料も少ないため実態把握が進んでいない。 【今後の対応方針】 スポーツ関連産業等に関わる方々との情報収集・意見交換等により施策推進に係る連携の可能性等の検討に努める。
4 (1) ③ ii	スポーツ関連産業を幅広く捉え、スポーツ施設運営、スポーツ用品製造・販売などのスポーツに直接関わる産業だけでなく、観光、医療、健康増進、リハビリテーション、食品・飲料、ものづくり等スポーツに関連する産業全体との連携、それによる地域経済、雇用への波及効果の創出に向けたスポーツ関連産業の振興を目指します。	スポーツ振興課	スポーツ大会・合宿誘致などスポーツによる地域振興・交流人口拡大を図るため平成28年に商工・観光団体、競技団体、行政、報道機関等と一緒に「長崎県スポーツコミッション」を設立するとともに、スポーツビジネス推進セミナーやスポーツマネジメント人材育成講座等を開催している。	C	【課題】 観光以外の分野での連携が進んでおらず、生涯スポーツ振興や健康づくりの面からもこういった連携が可能か検討する必要がある。 【今後の対応方針】 スポーツ関連産業等に関わる方々との情報収集・意見交換等により施策推進に係る連携の可能性等の検討に努める。
4 (2) ③ ii	クラブチームと連携して、スポーツ大会・合宿の誘致に取り組むとともに、スポーツ関連産業で活躍できるスポーツマネジメント人材を育成します。	スポーツ振興課	H28年に設立したスポーツコミッションの事務局を（一社）V.V.NAGASAKIスポーツクラブ（V・ファーレン長崎の関連団体）が担うスキームを構築し、クラブチームが有するノウハウや人脈を活用した誘致活動やスポーツマネジメント人材育成講座を開催した。	C	【課題】 V・ファーレン長崎の経営母体の変更に伴い、（一社）V.V.NAGASAKIスポーツクラブとの関係性が解消となった。 【今後の対応方針】 関連性は解消されたが、それまでに蓄積されたノウハウや人脈を活用した誘致活動等に引き続き取り組む。
4 (2) ③ v	アジア・国際戦略の一環として、中国や韓国などアジア諸国のクラブチームと本県クラブチームとのスポーツ交流について検討します。	スポーツ振興課	中韓アジアのクラブチームとのスポーツ交流については、V・ファーレン長崎の経営体制が変わったこともあり、現在のところ交流は行っていない。 ただし、県サッカー協会が中国のサッカー協会と共催でH30.8月に日中韓3カ国の青少年が参加する「VREDE CUP」を諫早市で開催した。	C	【課題】 事業推進に際しては、V・ファーレン長崎の方針に左右される面がある。 【今後の対応方針】 引き続き、アジア・国際戦略の観点から対象国との取組推進にどのようにV・ファーレン長崎を活用できるか検討していく。

	「具体的取組」項目	担当課	これまで（H28、29、30年度）の取組状況及び成果	達成状況	現状における課題と今後の対応方針
4 (2) ④ i	県内企業における、実業団チームの設立へ向けた取組について協力していきます。	スポーツ振興課	適宜、設立の意向等をお持ちの方から話をうかがうなど情報収集に努めた。	C	【課題】 県内にチーム設立意欲のある企業等が少ない。 【今後の対応方針】 設立に向けた相談があった場合には、県体育協会等とも連携して指導者・県内競技者情報など各種情報提供等を行っていく。
4 (2) ④ ii	県内の実業団チームについても、地域密着型チームとして応援する機運の醸成を図っていきます。	スポーツ振興課	実業団チームの大会参加等の活動状況の把握が行えておらず、試合情報・結果等の情報発信が十分行えていない。	C	【課題】 地域密着型として、より定着させられるような取組が必要。 【今後の対応方針】 実業団チームの活動状況把握に努めるとともに、県ホームページ・SNSを活用して出場大会やテレビ等放映予定、大会結果の告知等に努める。
4 (3) ① ii	日本を含むアジアの複数国で定期的開催されるスポーツイベントの情報を敏感に捉え、機を逃さないような誘致に取り組みます。	スポーツ振興課	アジア複数国で定期的開催されるようなスポーツイベント情報の収集、誘致については取り組めていない。	C	【課題】 ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピックなど大型国際大会を優先しているため、本項目について十分な取組が行えていない。 【今後の対応方針】 競技団体等との連携により情報収集に努めるとともに、候補イベントが出てきた場合には誘致可否等について市町や関係競技団体も含めて検討を行っていく。
4 (3) ① v	（再掲）アジア・国際戦略の一環として、中国や韓国などアジア諸国のクラブチームと本県クラブチームとのスポーツ交流について検討します。	スポーツ振興課	中韓アジアのクラブチームとのスポーツ交流については、V・ファーレン長崎の経営体制が変わったこともあり、現在のところ交流は行っていない。 ただし、県サッカー協会が中国のサッカー協会と共催でH30.8月に日中韓3カ国の青少年が参加する「VREDE CUP」を諫早市で開催した。	C	【課題】 事業推進に際しては、V・ファーレン長崎の方針に左右される面がある。 【今後の対応方針】 引き続き、アジア・国際戦略の観点から対象国との取組推進にどのようにV・ファーレン長崎を活用できるか検討していく。
5 (1) ① v	身近なスポーツを推進するため、スポーツプログラマー、インストラクターなどを配置しきめ細かなサービスを提供している民間スポーツ施設との一層の連携を図っていきます。	スポーツ振興課	民間スポーツ施設との連携についてはどういった分野でどういった連携が可能か、今後スポーツに関する知見を有する方々からのご意見も伺うなどしながら検討していく。	C	【課題】 人的制約もあり民間スポーツ施設の実情把握が出来ていない。 【今後の対応方針】 どういった分野でどういった連携が可能か、今後スポーツに関する知見を有する方々からのご意見も伺うなどしながら検討していく。
5 (2) ① i	市町の地域の実情に応じたスポーツ推進計画の策定に向け、有益な情報提供などの支援や助言をより一層行っていきます。	スポーツ振興課	30年度：各市町スポーツ推進計画策定状況把握調査実施 ・スポーツ推進計画策定市町：5市町 ・他計画等でスポーツ分野記載の市町：12市町 ・全く記載のない市町：4市町	C	【課題】 健康づくりや地域振興におけるスポーツの重要性を市町に認識してもらう必要がある。 【今後の対応方針】 各市町へ、各種計画策定（改定）時に国第2期スポーツ基本計画を参酌して策定（記載）してもらうよう会議等の機会も活用しながらスポーツの重要性等について情報提供を行う。